

会 員 各 位

令和4年10月1日
鳥取県中部歯科医師会
会長 石亀裕通
鳥取県西部歯科医師会
会長 植木泰久

令和4年度

鳥取県中部歯科医師会 地域歯科医療連携室研修会

鳥取県西部歯科医師会 口腔介護研修会 ご案内

(会場参加とオンラインによるハイブリッド開催)

新秋の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記研修会を下記の通り企画致しましたので、ご案内申し上げます。3密をさけるためご自宅等でのオンライン聴講も可能となっております。

今回は、公立能登総合病院歯科口腔外科部長 長谷剛志先生を招聘し薬剤と病気、歯科における食支援の貴重なお話をさせていただきます。

お忙しいとは存じますが、会員・スタッフの皆さまに多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日時： 令和4年10月9日(日) 9時00分～15時30分(予定)

メイン会場：鳥取県西部歯科医師会館 2階 講堂 *限定30名

米子市両三柳 104-1 ☎0859-33-3864

サテライト会場：鳥取県中部歯科医師会 2階 講堂 *限定10名

倉吉市東巖城町 68 ☎0858-22-5472

講師： 公立能登総合病院歯科口腔外科部長

はせ たかし
長谷剛志先生 *来県の上、会場にてご講演いただく予定

講演1：「高齢者歯科医療とリスクマネジメント

～高齢患者の特徴と注意したい薬剤を中心に～」

講演2：「高齢期の口腔機能低下と anorexia

～歯科は高齢者の『食』に寄与できるか?～」

受講対象： 歯科医師・歯科衛生士

【抄録】

公立能登総合病院歯科口腔外科部長

講演 1

長谷剛志

高齢者歯科医療のリスクマネジメント ～高齢患者の特徴と注意したい薬剤を中心に～

高齢者の増加に伴い、訪問歯科診療を必要とする対象者は増えていますが、実際のところ、システムの煩雑さやリスク管理、療養環境の不便などを理由に、その需給バランスは安定していません。また、高齢者は、さまざまな背景疾患を抱え、複数の薬剤を服用していることが多く、歯科治療の障壁となるケースにも遭遇します。講演 1 では、高齢者の生理的特性と病態を整理し、注意したい薬剤と疾病やライフステージに応じた食支援の在り方について解説いたします。

講演 2

高齢期の口腔機能低下と anorexia ～ 歯科は高齢者の「食」に寄与できるか？ ～

高齢者の多くは「anorexia of aging」であり、食行動調節系の変調や消化管運動機能の低下、生活機能低下、認知機能障害、食事環境の孤立など多様な因子が影響して生じる。そのため、脳卒中による摂食嚥下障害を主体としたリハビリによって食べる機能が向上し、必要栄養量を摂取できるようになる症例は少ない。

講演 2 では、FTT をテーマに取り上げ、食感受容器としての口腔の在り方を検証するとともに歯科が高齢者の anorexia に対して寄与できるかエビデンスをもって解説いたします。

◎オンライン聴講申込みについて

西部歯科医師会ホームページ内の申込みフォームから事前登録をお願いします。

<https://tottori-seibu-dent.com>

鳥取県西部歯科医師会



【締切 10/7（金）13時まで】

- ・この研修会は Zoom を利用します。聴講に使用される PC、タブレット、スマートフォンへ事前にアプリをインストールし利用可能であることを確認することをお勧めします。
- ・聴講者の PC やネットワーク設定、Zoom のトラブル等により当日、聴講ができない場合、西部歯科医師会は対応致しかねますので予めご了承ください。

問い合わせ先

鳥取県西部歯科医師会（担当：オリオク）

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳 104-1

☎0859) 33-3864 📠0859) 33-3925

✉oy8020sd@sanmedia.or.jp